

新潟県津南町のイベントやツアー、活動など旬な観光トピックスを配信します。



春木山作業

## 今月の注目トピックス

1

### 「春木山（はるきやま）」にみる雪国の知恵 晩冬に木を切り出す3つのワケ

体験日：3月27日

主催：農と縄文の体験実習館

なじよもん

立ち木の伐採や不要な枝を切り落とす「枝打ち」という林業作業は、普通は落葉後から初雪の降るまでの間と、早春の芽吹きが始まる直前までが適期とされていますが、津南では昔から「春木山」といってまだ残雪残る3月に行われてきました。今は機械化され少なくなりましたが、そこには雪国ならではの知恵が隠されています。

2

### 次のブームは「わら女子」！？ わら細工に興味を持った若者が徐々に増加

体験日：3月13日～3月18日

会場：農と縄文の体験実習館

なじよもん

主催：藁の会

雪国の冬仕事として草履や紐、雨具、カゴなどさまざまな物を作ってきたわら細工。その技法は高齢者とともに消えていくのではないかと危惧されていましたが、津南のわら細工保存会「藁の会」（松本文子会長）では今冬から指導的立場の高齢者に混じって、中高年夫婦や若い男性などが参加。若い女性も参加したりとじわじわと活気づいています。

掲載情報について詳細を知りたい方は、下記までお気軽にお問合せください。

〒949-8292 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊585番地 津南町役場地域振興課商工観光班

電話：025-765-3115 ファックス：025-765-4625 メール：chiikishinko@town.tsunan.niigata.jp

## 1 「春木山（はるきやま）」にみる雪国の知恵 晩冬に木を切り出す3つのワケ

木の伐採や枝打ちは、豪雪地津南では昔から雪が固く締まって積雪1～2mぐらいになる3月に行われます。その理由は①木は寒くなると根から水を吸い上げなくなるため、伐採や枝打ちは冬が良いとされるからです。

しかし雪があると作業効率が悪くなりますので、普通は、葉が落ちてから初雪まで、もしくは消雪後から若葉が出るまでに行われますが、津南では②枝打ち作業は通常はしごが使われますが、雪がある場合はその分が嵩上げされているので、作業がしやすいこと。③伐採した木を山から運搬する場合、雪があると山ゾリという大型のソリを使って運搬することができるからです。

これを「春木山」といいます。最近は機械化され「春木山」作業を見ることもほとんど無くなりましたが、なじよもんでは体験学習の一環として3月27日に実施します。



体験日：3月27日

主催：農と縄文の体験実習館  
なじよもん

## 2 次のトレンドは「わら女子」！？ わら細工に興味を持った若者が徐々に増加

津南でわら細工の技術継承に取り組んでいる藁（わら）の会の松本文子会長はわら細工の魅力を「わら細工を作るのももちろん面白いけれど、何よりも皆で話をしながらわら細工が出来上がっていくという『交流』が楽しい」と語っています。

夫とともに津南に移住してきた松本さんが、高齢者からわら細工の指導を受け始めたのは15年前。彼らとともに「藁の会」をつくり、仲間も増えてきたものの、その大半は80歳台でした。しかし今年の冬に入って少しずつ若い方の参加が増え始め、現在60歳以下が10人ぐらいいて一緒にわらを編んでいます。また、若い女性も少しずつですが参加するようになりました。その中の一人、地域おこし協力隊の松本江美子さんは「東京の友達などに話すと興味を持つ人が多い。同世代をもっと誘って参加していきたい」と意欲的な姿勢を見せています。



開催日：3月13日～3月18日

会場：農と縄文の体験実習館  
なじよもん

主催：藁の会

掲載情報について詳細を知りたい方は、下記までお気軽にお問合せください。

〒949-8292 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊585番地 津南町役場地域振興課商工観光班

電話：025-765-3115 ファックス：025-765-4625 メール：chiikishinko@town.tsunan.niigata.jp